

API Regional Project in JAPAN
Post Site Visit Project (November 2010)
Photo Exhibition "MUKUGAWA in the Eyes of API Participants"



写真展

アピ

APIがみた椋川

日程 平成22年11月21日(日)
「おっきん! 椋川」
場所 椋川の里
滋賀県高島市今津町椋川

API (アピ)

…Asian Public Intellectuals.

公共のために働くアジアの知識人。

2000年、インドネシア、日本、マレーシア、フィリピン、タイの五カ国において活動する知的公共人（を目指す者も含む）のために、日本財団が助成制度をスタートさせた。

アピの特徴は、研究者、アーティスト、ジャーナリスト、NGO活動家など、年齢も経歴も専門もバラバラの、バラエティにとんだ人材が集まっているところにある。この10年間にアピとして活躍したのは250名以上にのぼる。そんな「アピたち」を集め、共同プロジェクトをたちあげたらどうなるのか？

それがこのプロジェクトのはじまりである。



API REGIONAL PROJECT

(アピ・リージョナル・プロジェクト)

…2008年秋から2011年夏の3年にわたって、インドネシア、日本、マレーシア、フィリピン、タイの5カ国で行われる共同プロジェクト。

研究者、アーティスト、ジャーナリスト、NGO活動家など多様なバックグラウンドをもつ「アピたち」が集い、コミュニティに根ざした環境への取り組みについて、考え、学ぶプロジェクトである。

日本チームが選んだサイト（場所）は、琵琶湖湖西地方。特に、椋川はその活動の中心地となった。2009年9月に外国からの参加者を迎え、約40人の仲間が2週間共に過ごした。

これに先駆けて、日本チームは、約1年をかけ準備をしてきたが、そのひとつに「手づくりの田んぼ作業」がある。これは、椋川のみなさんにご協力をいただいて実現したことだが、一から田んぼと関わりながら、まさに身体でコミュニティに入っていく、そんな貴重な体験となった。

2009年9月、無事みんなでキラキラのお米を収穫することができた。

「おっくん！椋川」である。

写真展 APIがみた椋川

2009年9月のプロジェクトを中心に、1年以上かけて関わってきた椋川。その椋川をアピたちはどう見つめ、どう感じていたのか。外国人参加者も含め、すべての参加者に声をかけると、もう一つの訪問先であった針畑（滋賀県高島市朽木）の写真も含めて、数多くの写真が集まった。

環境、伝統、暮らし、いのち…。たくさんのことを学ばせてもらった椋川の里に「おっくん（感謝）」の気持ちを込めて、写真展「APIがみた椋川」を開催します。

API REGIONAL PROJECT IN JAPAN WORKING GROUP



APIフェロワーシップ事務局（日本）

〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46

京都大学 東南アジア研究所 API フェロワーシップ事務局

Tel: 075-753-7348/075-753-7391

E-mail: api@cseas.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/api/>

